

スローテンポ通信

第 24 号

2019年1月30日

発行: 一般社団法人スローテンポ協会
〒329-0403 栃木県下野市医大前 3-7-4-3F

☎ 0285-35-2888

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

◎ あなたのお力、お貸しく下さい！

スローテンポ協会は、「誰もが働き誰もが輝く」をスローガンに、モデル事業を展開します。

進行中のプロジェクト:

- ※ 街の本屋の生き残り作戦
- ♥ 新しい形のカフェづくり
- ❖ 小規模経営の最低限の経理

関心のある方は当協会まで。



知の世界への変な案内人

スローテンポ書店

営業: 火~土 13時~19時



☆ 『あなたが知らないだろう おすすめ 100 選』

A4版 12 ページ、無料、書店にあります。

☆ 今月のおすすめ

・『反戦歌 戦争に立ち向かった歌たち』 竹村淳 著

アルファベータブックス 2018年 2000円+税

戦争の20世紀を平和を願う庶民の歌でとらえ直す。

・『新版 おまえらばかか ほうり出されたおれたち おれたちの生きざし』 江尻彰良 著

現代書館 2005年 2200円+税

この本は4冊の名著の復刻版だ。知的障害者を最初にみたとき「こいつらはばかだ」と思った著者自身と、同じような多くの日本人をコケにする。著者は、知的障害者たちの隔離収容に疑問を抱き、50年前から彼らが寮に住み社会参加できるよう実践してきた。今だから読んでみたい。

戦争をコケにする、 平和主義の一つの形

.....
ブログの<こんな本があります>のコーナーで『反戦歌 戦争に立ち向かった歌たち』を紹介しました。その文章の中から一つを、特別にタイトルをつけ独立させて掲載します。
.....

『MASH』とは、朝鮮戦争を舞台にした反戦映画であり、そのタイトルは移動陸軍外科病院のイニシャルである。予算がなくて、新人ばかりを起用して制作された。映画会社のお偉いさん方が現場をのぞきに来ることもなかったから、何の制約も受けず自由につくれた。

映画業界は何の期待もしていなかったが、公開されると観客は絶賛し、業界肝いりで予算をかけた『トラトラ！』や『パットン大戦軍軍団』を超える人気だった。この映画は、軍も戦争もとことんコケにしている。

さて、この映画のテーマ曲が『自殺は苦痛を消してくれる』であり、監督の14歳の息子が作詞した。作曲者から「ばかばかしい歌詞がほしい」と希望が出されたのだけれど、監督をはじめ大人たちにはうまい案が浮かばず悩んでいた。監督が息子に話したら、息子は5分で書き上げた。監督はそれをそのまま採用した。

ももとの曲名は『Suicide is painless』だが、『もしもあの世に行けたなら』という翻訳もある。

この歌は決して自殺を勧めているわけではない。何事も思い通りにならない戦場で、苦痛ばかりが頭をもたげてくる。そんな中でも自殺だけは自分の意思でできるし、苦痛を消してくれる。この歌をとりあげた本『反戦歌...』の著者はそのように解釈し、戦争そのものをコケにしていると絶賛する。

この映画には公開自殺セレモニーといった場面まであり、どこまでもブラックユーモアで戦争をコケにする。

ふと思った。戦争をコケにしてよいものだろうか。

自分の意思に反して戦争にかり出され、そこで犠牲になる若者たちや、不当な侵略から町を守るために武器をとる勇気ある人たちをコケにするのは、確かにいただけない。

しかし、戦争の悲惨さを知り尽くしたはずの人類が、優秀な頭脳と資金を投入して、平和維持のための究極の国際システムを構築してきたにもかかわらず、それでもなお、「俺の言うことを聞けないのか」といって戦争をくり返す、そんなおろかさ加減をコケにするのは大いに結構なことだ。

朝鮮戦争で投下された爆弾の量は太平洋戦争のときの4倍であり、兵士や民間人の死者の総計は国連の推計で500万人弱である。それだけの犠牲にもかかわらず、38度線を挟んで双方がにらみ合う姿は、戦争前と同じだ。これが、おろかな人類の姿なのである。

日本は平和主義を標榜する。ところが外国人は、日本の平和主義には理念がないと批判する。平和主義と社会・経済問題とが切り離されているから、こういうことになるのだろう。

戦争とは決まって、欲深い連中の狂った欲望が引き金になっている。そして日本では、社会構造の改変がどんどん進められ、「儲けることはよいことだ。他人が困るのは自己責任だ」と吹聴される。欲望礼賛の勢いは、とどまることを知らない。

平和を求める日本には、落語や漫才があつて、コケの名人たちがいる。この欲望礼賛のおろかさを、とことんコケにして欲しい。了

N



どなたも歓迎・懇話会

社会参加は、人と話すことから始まります。水曜日午後7時~9時、参加無料。



正しく伝えて人とつながる 実用文教室

毎週木曜日午後6時~8時、
参加費は資料代含めて、1回500円。
参加随時、お問い合わせは当協会まで。